

平成30年度家庭教育支援者リーダー等養成講座第5回講座報告

「ステップアップリーダー講座 ～寄り添いつながる支援へ～」と題して、家庭教育支援や子育て支援に関わる活動をされている方を対象に、保護者や子どもへの寄り添い方や地域や仲間とつながる支援について必要な知識や運営力を学ぶ講座を開催しています。（8回連続講座）

講座チラシはコチラをご覧ください→ [H30年度家庭教育支援者リーダー等養成講座チラシ](#)（1278KB; PDFファイル）（H30年11月2日～H31年2月22日）

- 平成30年度家庭教育支援者リーダー等養成講座の第5回を開催しました。

第5回12月27日(木)

支援をつなげる大切さ（県外編）～子どもを取り巻く困難な環境における支援のあり方・実践者に学ぶ～



【事例発表者】小池 正博さん（子育てサロン支援者）（左）、渡邊 福さん（筑豊子育てネットワークかてて！代表）（右）



【コーディネーター】相戸 晴子さん（宮崎国際大学教育学部准教授）

430世帯約950人が暮らす公営団地内の集会場で子育てサロンをされている自治会長の小池正博さんと、出前サロンとしてこの支援に関わられている筑豊子育てネットワーク「かてて！」代表の渡邊福さんに、活動についてお話をいただきました。

市内や子育て支援センターから遠く離れ、ひとり親家庭や生活保護を受けている家庭が多いなど、社会から孤立した子育て環境を何とかしたいと小池さんが市に相談されたことがきっかけで活動がスタート。始めは周りの理解を得られず1回だけの約束だったが、支援センターや地域住民の協力を得て、今年で3年目を迎えられました。子育て支援センターのスタッフの他に、団地住民や保健師、地域のボランティアなどが、毎回10名程の支援者が訪れる親子に寄り添っていらっしゃいます。

インタビューダイアログ



小池さんは「支援は一進一退で、信頼関係がうまくいきかけても、『しつこい』『かまわないで』と元に戻ってしまうこともあります。それでも語り続けていこうと思っています。自治会だからできることを活かして、子ども達がこの団地で夢や希望を持って社会で生きていけるよう、就職してこの団地を出るまでを一貫して支援していくのが目標です」と語られました。

渡邊さんは「やりたくない人には強要しない。そして、楽しく活動できる4～5人くらいで、それぞれが持つネットワークを活かして支援する方が取り組みやすいと思う」と、活動をととして感じた持続可能な支援体制の一案をアドバイスされました。

最後に、この子育てサロンに毎月参加されているコーディネーターの相戸晴子さんから「外部の支援者だけでは成り立たない。必ずその地域住民の支援者を主体にして取り組んでほしい」と、地域に出かけて支援する際の心構えを伝えられました。

講座の感想（アンケートより抜粋）

- 子育て支援に関わるようになった小池さんのきっかけがとても興味深く、感心させられた。待つて迎えるだけでなく、出かけて行く出前型のサロンの重要性を感じた。これぞ子育て支援、と言えるお話に大変勉強になりました。
- 普通の住人だった小池さんが、自分の事として、地域活動、支援に奮闘されている姿を見て、心が動かされました。居場所は場所だけでなく、人でもあるんだと改めて思いました。
- 今回の実例の中から、私達の身の回りにある問題点を見出すことが出来ました。課題を見つけることが出来て良かったです！
- 長期支援で地域全員の子どもと関わる活動をしていきたいと考えているところでした。これから自分の活動の参考にして、頑張っていきたい。
- 様々な形や内容の子育てサロンがあり、勉強になりました。感想や質疑応答の時間が十分にあったので、他の方々の話もゆっくりと聞けたので良かったです。

[アバンセとは](#) | [リンク集](#) | [公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団](#)



TEL : 0952-26-0011
FAX : 0952-25-5591

〒840-0815
佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんどんの森内)

交通アクセス

お問い合わせ

開館時間

火曜～土曜日：8時30分～22時00分
日曜・祝日：8時30分～17時00分
(ホールは22時00分まで)

休館日

毎週月曜日（祝日も含む）
12月29日から翌年1月3日まで

館内フロアマップ



施設利用の手続き



利用料金表



施設利用Q&A

